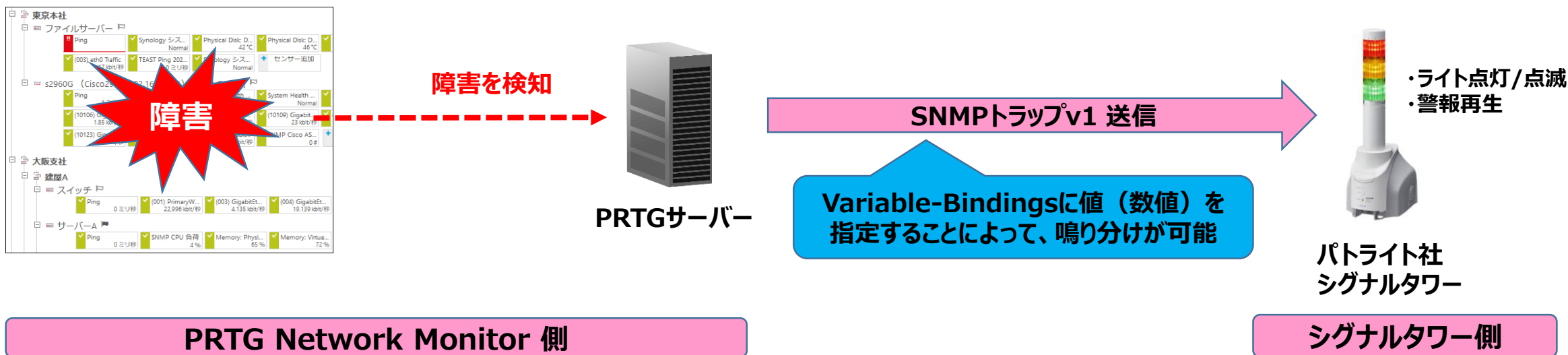


Paessler社製PRTG Network Monitor（ネットワーク監視システム）と パトライト社製シグナルタワー（警報装置）との連携

全世界で20万以上のインストール実績のある監視システムPRTG Network Monitorで検知したネットワークの問題をパトライト社製の警報装置「シグナルタワー」で知らせることができます。

<< 障害発生からSNMPトラップ送信によるシグナルタワー作動までのイメージ >>



<< 設定方法の概要 >>

PRTG Network Monitor 側の設定

- ・PRTG Network Monitor側では、監視時に障害等を検知した際の処理としてSNMP Trap(v1)を送信するトリガーを定義します。
- ・SNMP Trapの送信先IPアドレスを設定します。（鳴り分けを行う場合は、「メッセージID」に値（数値）を設定します。）

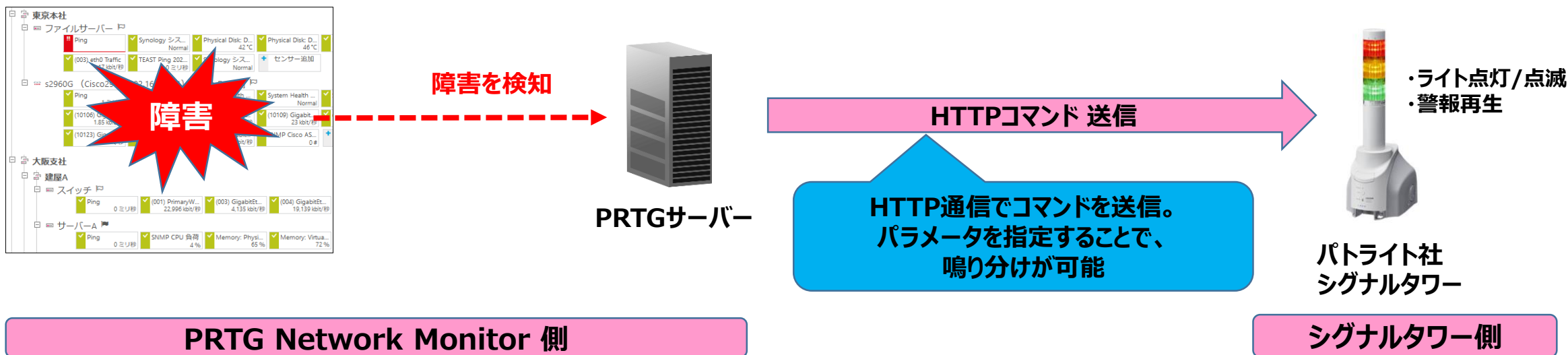
シグナルタワー側の設定

- ・SNMP Trap送信元のIPアドレスを指定します。
- ・Variable-BindingsのOIDに「1.3.6.1.4.1.32446.1.1.1」を指定して、PRTG側で設定した数値を指定します。
- ・Trap受信時のライト動作を設定します。

Paessler社製PRTG Network Monitor（ネットワーク監視システム）と パトライト社製シグナルタワー（警報装置）との連携

全世界で20万以上のインストール実績のある監視システムPRTG Network Monitorで検知したネットワークの問題をパトライト社製の警報装置「シグナルタワー」で知らせることができます。

<< 障害発生からHTTPコマンド送信によるシグナルタワー作動までのイメージ >>



<< 設定方法の概要 >>

PRTG Network Monitor 側の設定

- ・PRTG Network Monitor側では、監視時に障害等を検知した際の処理としてHTTPコマンドを送信するトリガーを定義します。
- ・シグナルタワーに送信するHTTPコマンドを設定します。

シグナルタワー側の設定

- ・HTTPコマンド制御機能を有効にします。

PRTG Network Monitor 側の設定

通知 | 通知設定 | PRTG | x

192.168.91.214 :8061/editnotification.htm?id=2005

ホーム デバイス ライブラリー センサー 警報 マップ レポート ログ チケット 設定

マイアカウント 通知 通知

SNMPトラップ送信

ホストIP: 192.168.91.11

SNMPポート: 162

コミュニティ名: public

トラップコード: 0

メッセージID: 3

メッセージ: [Name] %device %name %status %down (%message)

エージェントIP: 192.168.91.23

SNMP Trap送信先IPアドレスを指定

Variable-BindingのOID (1.3.6.1.4.1.32446.1.1.1) の値 (数値) を指定

このIDでトラップ送信元を識別できます (1.3.6.1.4.1.32446.1.1.1で登録可能)。Integer型の値に限定します。

シグナルタワー側の設定

PATLITE

- セットアップ項目
 - ※システム設定
 - ※時刻設定
 - ※ユーザー認証設定
 - ※SNMP設定
 - ※ネットワーク通信設定
 - ※メール送信設定
 - ※メール内容設定
 - ※コマンド受信設定
- 動作設定
 - ※TRAP受信設定
 - ※Ping監視設定
 - ※アプリケーション監視設定
 - ※クリア動作設定
 - ※通常動作設定

TRAP受信設定

1 2 3 4 5 6

受信 | TRAP

グループ名称1	trap_recieve
TRAP 送信元アドレス	192.168.91.214
TRAP番号	
variable-bindings1	OID: 1.3.6.1.4.1.32446.1.1.1 型: integer ▼ 値: 3
variable-bindings2	OID: 型: integer ▼ 値: 0

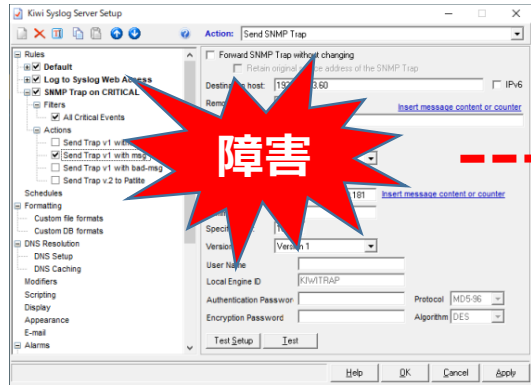
SNMP Trap送信先IPアドレスを指定

Variable-BindingのOID (1.3.6.1.4.1.32446.1.1.1) の値 (数値) を指定

SolarWinds社製Kiwi Syslog Server（シスログサーバー）と パトライト社製シグナルタワー（警報装置）との連携

確認が必要なシスログをKiwi Syslog Serverが受信した際に、パトライト社製の警報装置「シグナルタワー」で管理者に知らせることができます。

<< 障害発生からSNMPトラップ送信によるシグナルタワー作動までのイメージ >>



障害を検知

Kiwi Syslog Server

SNMPトラップv1/v2 送信

送信するトラップの値で、鳴り分けが可能



・ライト点灯/点滅
・警報再生

パトライト社
シグナルタワー

シグナルタワー側

Kiwi Syslog Server 側

<< 設定方法の概要 >>

Kiwi Syslog Server 側の設定

Kiwi Syslog Server側では、検知用のフィルターを設定して、SNMP SNMP Trap(v1またはv2) アクションを定義します。

アクションの定義[共通]：(1)送信先シグナルタワーのIPアドレスを設定します。

アクションの定義[v1]：(1)Generic type=6 (2)Specific type=123 ※任意の数値 この値で鳴り分けを指定できます。

アクションの定義[v2]：(1)Generic type=6 (2)Message text=Critical ※任意の文字列 この値で鳴り分けを指定できます。

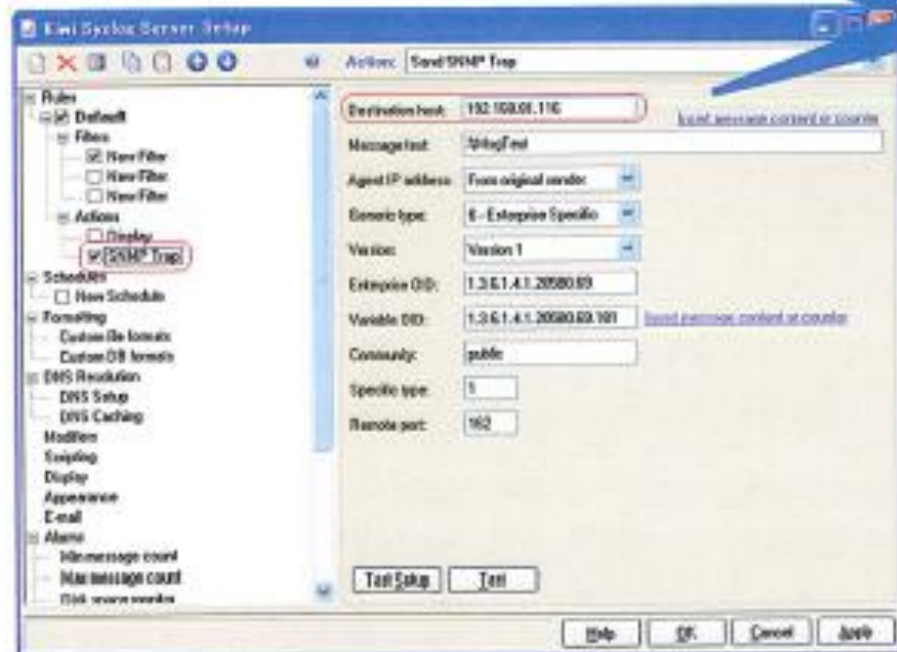
シグナルタワー側の設定

Kiwi Syslog Serverの送信するEnterprise OIDは1.3.6.1.4.1.20580.69ですが、受信側のTRAP番号はバージョンによって設定する値が異なります。

TRAP受信設定[v1]：(1)TRAP番号=1.3.6.1.4.1.20580.69.0.123 ※末尾の123はSpecific Typeで送信された数値です。[.0.]で連結します。

TRAP受信設定[v2]：(1)TRAP番号=1.3.6.1.4.1.20580.69 (2)variable-bindings1=1.3.6.1.4.1.20580.69.181の文字列値 Critical

Kiwi Syslog Server側の設定



SNMP Trap送信先IPアドレスを指定

シグナルタワー側の設定

PATLITE

- セットアップ項目
 - » システム設定
 - » 時刻設定
 - » ユーザ認証設定
 - » SNMP設定
 - » ソケット通信設定
 - » メール送信設定
 - » メール内容設定
 - » コマンド受信設定
- 動作設定
 - » TRAP受信設定
 - » Ping監視設定
 - » アプリケーション監視設定
 - » グラフ動作設定
 - » 通常動作設定

TRAP受信設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

受信 設定

グループ名称1	trap_retrieve						
TRAP 送信先IPアドレス	192.168.91.214						
TRAP番号							
1	variable-bindings1	OID		型	integer	※	0
	variable-bindings2	OID		型	integer	※	0

SNMP Trap送信先IPアドレスを指定

TRAP受信設定

SNMP Trap送信先IPアドレスを指定

グループ名称1	trap_retrieve						
TRAP 送信先IPアドレス	192.168.91.214						
TRAP番号							
1	variable-bindings1	OID		型	integer	※	0
	variable-bindings2	OID		型	integer	※	0